



# 小田小だより

平成28年4月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL 045(775)3011

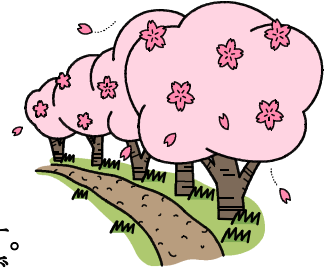
<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

## ご入学、ご進級おめでとうございます！

～萌えいずる季節に思いを寄せながら～

学校長 木村 昭雄



ひと吹きごとに季節を落ち着かせる春の嵐、ひと鳴りごとに春を呼ぶ天空に轟く春雷。そして大地を潤す豊饒な春の雨。季節は確実に、風の恵み、雨の力を使って、萌えいずる季節へと向かいます。小田小学校で迎える4年目の私の春も、夢と希望と期待に満ちあふれています。

春爛漫の今日、86名の元気な1年生が入学し、全校児童629名で、平成28年度がスタートいたしました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。お子様の成長する姿をご覧になって、頼もしく思っておられることでしょう。

そして、春は出会いと別れの季節。職員もご案内のように、これまで本校の教育活動の推進と発展にご尽力くださいました10名の職員の方々が退職、転任され、新たに12名の職員が着任いたしました。旧職員へのこれまでの温かいご支援に対しまして、心よりお礼を申し上げますとともに、新たに着任いたしました職員に対しましてもこれまでと同様にご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、異動の詳細につきましては、次のページをご覧ください。また、離・退任式の日時と合わせて別プリントでもお知らせいたしますので、よろしくお願ひいたします。

さて、本日の始業式で、私は子どもたちに次のような話をいたしました。

「新年度の初めに『してほしいこと』のお話をします。皆さんは友達やお父さん、お母さん、ご近所の方などから親切な行為をしてもらったら、嬉しいでしょうし、お礼に何かしてあげたいと思うかもしれませんね。皆さんが忘れ物をして困っているとき、クラスの友達が声を掛けて貸してくれたらと思ってください。皆さんがお礼に、その友達に何かしてあげようと思うのは自然ですが、こんなふうにしてみてもどうでしょう。親切にもらった友達や相手にお礼の気持ちで何かしてあげたら『恩返し』になりますが、皆さんとその友達や相手だけの関係で終わってしまいます。そうではなく、だれか違う人に親切な行為をするのです。それを意識的に二人にするのです。恩を『返す』のではなく、恩を『送る』のです。『恩送り』です。そうしていくと、それぞれの人から親切の輪が広がり、クラスで始めれば学級全体が、学級以外で試みれば、いつしか学校全体が親切の輪で結ばれ、すばらしい学校へと変わっていくことでしょう。『親切の輪』で結ばれた一人一人の「力」が、学級・学校を変え、地域を変え、ひいては日本・世界を変えることも可能であると私は考えます。このことについて、ぜひ各学級で、各家庭で話し合ってみてください。」

4月1日の朝、緊張と期待の中で勢揃いした職員には、私がいつも心にとめていた言葉『蒔かれたところに咲きなさい』という話をいたしました。私自身、もうきれいに咲くことはできないまでも、大好きな小田小学校の子どもたちのために精一杯自分らしく咲きたいと願っています。そして、午後の研修会では次のような講話をいたしました。

「私たち『チーム小田』の究極のミッションは、子どもたちの今と未来にハピネスを提供することです。小田小学校の子どもたちのために、みんなで知恵と力を出し合ってがんばっていきましょう。子どもたちが幸せになれば、お父さんもお母さんも、お祖父ちゃんもお祖母ちゃんも、子どもを真ん中に置いた周りの人たちがみんなが幸せになります。自分の仕事によって、たくさんの人たちが幸せになる。それが教師という仕事の、学校にかかわる仕事の醍醐味です。」

本年度もこれまで同様、保護者や地域の皆様方の支えをいただきながら、「チーム小田」を合い言葉に、職員一同、教育活動の一層の充実に努めてまいりたいと思っております。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。